

TOPICS

世界のベスト病院ランキングに 4年連続でランクイン

米国Newsweek誌が毎年発表している世界の良い病院ランキング「World's Best Hospitals 2023」に、当院が4年連続で選出されました。

本館1階の待ち合いスペースの 椅子をリニューアル

2023年5月29日より、本館1階の待ち合いスペースの椅子をリニューアルしました。



CA(客室乗務員)の接遇ノウハウを 学ぶ研修を実施

2023年6月12日、ANAグループのCA(客室乗務員)や地上係員の経験者を講師にお迎えし、院内にて接遇研修を実施しました。

新生児撮影サービス (ニューボーンフォト)の提供を開始

産科病棟で新生児撮影サービス(ニューボーンフォト)の提供を開始しました。

「みんなの医療セミナー」開催

2023年から「みんなの医療セミナー」という名称で定期的に市民向けの講演会を行います。

詳しくはホームページをご覧ください



寄附者一覧(2023年3月~6月)

【法人】株式会社岡島不動産 様 ジョリーメイ株式会社 代表取締役 大守 浩文 様 株式会社安藤忠雄建築研究所 様
大東洋 様 匿名:4社 様
【個人】福井 千鶴子 様 高橋 雅樹 様 岩山 幸子 様 林田 光雄 様 蔵之上 光男 様 蔵之上 智子 様
池田 哲治 様 池田 泰子 様 池田 昌浩 様 齋藤 純子 様 齋藤 秀男 様 佐藤 正勝 様
長瀬 千秋・港 様 匿名:17名 様

当院では医学の進歩を通して一層の公益増進と活力ある社会の実現に寄与するため、医学研究資金のご寄附をお願いしております。金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。



寄附金で新しい手術用機器を複数導入

昨年度中に皆さまからご支援いただいた貴重な寄附金を活用し、新たに手術用機器(手術顕微鏡システム、無影灯、術野カメラ、記録装置、モニタールーム)を導入しました。

公式Twitterを
ご覧ください



お気軽にフォロー
してください。



https://twitter.com/kitano_koho

LINE友達のご登録を
お願いします



北野病院から
お知らせなどを配信
させていただきます。



公式チャンネルを
ご登録ください



新着動画をいち早く
チェック!

[https://www.youtube.com/
@KitanoPR](https://www.youtube.com/@KitanoPR)



KITANO きたの広報



[特集]

内視鏡を探る

どれくらい？
どこから？
どれだけ？

「内視鏡」を採る

消化器内科では、早期がんの診断・治療に内視鏡を役立てています。

がんを早期発見できれば、お腹を切らずに胃カメラ、大腸カメラだけでがんを取り除くことが可能な場合も。

まずは、内視鏡の診断について知りましょう。



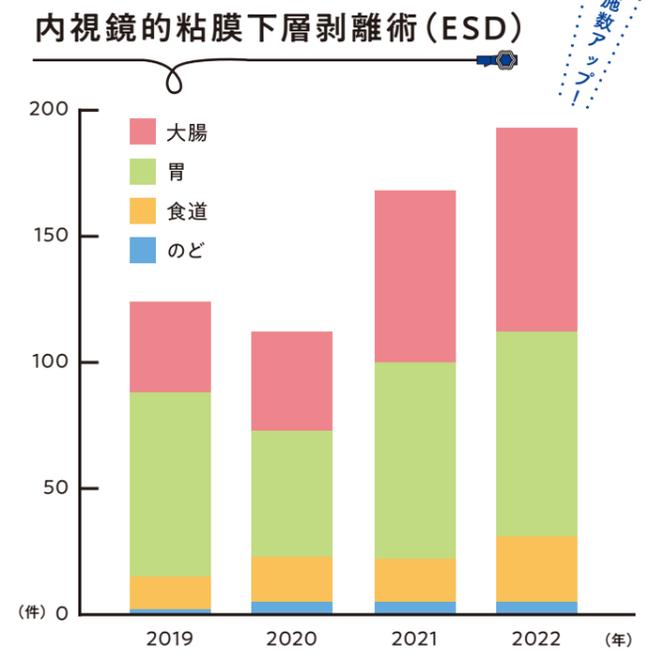
※患者さんの状態により所要時間などは変わります。

胃カメラ		大腸カメラ	
事前準備	当日朝から絶食	事前準備	当日朝から絶食+下剤を飲んで腸内を空にする必要あり
どこから？	 口から <small>(より鮮明な画像が撮影可能)</small>  鼻から <small>(細いカメラでオエとなりにくい)</small>	どこから？	 お尻から
検査時間	5~10分(目安)	検査時間	30分(目安)
見える場所	のど、食道、胃、十二指腸	見える場所	大腸
検査すべき症状	みぞおちの痛み、貧血、食欲不振、バリウム検査異常など	検査すべき症状	検診異常(便潜血陽性)、便秘、下痢、出血、貧血など
対象疾患	胃がん、胃潰瘍、逆流性食道炎など	対象疾患	大腸がん、大腸ポリープ、腸炎など



「どれだけ？」 実績

当院におけるこれまでの内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の診断・治療例の累計件数は、食道約250件、胃約1,200件、大腸約600件で、2020年以降は年々実績を上げています。
※ESDについてはP.03の詳細をご参照ください。



北野病院の 内視鏡

ENDOSCOPE

高性能
機器

連携力

安心体制

当院では、胃カメラや大腸カメラに使う内視鏡の先端から電気メスや特殊な器具を用いて、のど・食道・胃・大腸などにできた早期のがんを切除する「内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」を行っています。技術的な難易度は高いものの、転移のない早期がんであれば外科手術と同等の根治が得られる上に臓器を残せるため、患者さんの体にとってもやさしい治療法です。

内視鏡でがんの早期発見、
早期治療を行っています



患者さんにとって ベストの治療を提供



「ESD」は、内視鏡を用いた電気メスでがんの病変を少しずつ剥離して切除する治療法です。この術法が生まれたことで、従来はお腹を切って手術をしなければならなかったようながんも内視鏡で取り切れるようになりました。電気メスを駆使することで、当院でも15cmもある胃がんをきれいに取り除いた症例もあります。

患者さんにとってやさしい治療法である点も魅力です。従来は手術で胃を切除してしまうと、術後のQOL(Quality of Life)に大きく影響しました。しかし、ESDでは臓器を残せるため、元どおりの生活を続けることが可能です。患者さんの中には、1週間入院された退院当日にお仕事に復帰された方もいます。また、体に負担が少ないため、ご高齢の方にも治療が可能で、96歳で胃がんのESDをされた方もいらっしゃいました。

がんは、早期であれば根治可能な場合が多いです。早く見つけるためにも、定期的に内視鏡で検査されることをおすすめします。検査だけであれば、通い慣れたかかりつけ医の先生のもとで行い、何かの異常でご紹介になりましたら私たちが患者さんにとってベストの治療を提供します。

Check

日本人の死因第1位は男女とものがんです。いずれも上位を占める消化器がんの早期発見・治療に役立っています。



よし かわ たか あき

消化器内科
副部長

吉川 貴章 先生

高性能機器

多くの患者さんに対応できるよう、たくさんの中視鏡を用意しています。現在の内視鏡システムは4K対応で以前に比べて格段に視認性が良くなり、ごく初期の病変の発見につながっています。胃カメラについてはメーカーに別注したオリジナルの高性能機器を備え、難易度の高い治療にも対応しています。



各診療科との 密接な連携で安心



当院では、消化器内科と消化器外科が連携し、患者さんの状態に合わせて、内視鏡治療か手術治療かを入念に相談し、治療方針を決定しています。また、その他の診療科とも緊密に連携しているため、総合的な治療方針を打ち出せるのは総合病院としての強みです。

消化器
内科

消化器
外科

連携力



内視鏡のエキスパートである
看護師もそろって安心の体制



安心
体制



初めての検査は不安が大きいです。のどや鼻腔にはあらかじめ麻酔を行うことで苦痛を軽減でき、検査の予約の際に鎮静剤の使用も希望していただければ、点滴から鎮静剤を入れて、うとうとと眠っている間に検査や治療をすることができます。検査終了後は鎮静剤の効果がなくなるまで30分ほどリクライニングチェアでゆっくり休んでいただけます。検査中は患者さんの背中をさすり、声をかけるなど些細なことですが、患者さんの不安を最小限に抑えるためにスタッフ一同心がけています。検査前に不安に思うことは、気兼ねなく看護師にご質問ください。

どんなことも
お答えします!

内視鏡 Q&A

answer

内視鏡についてのよくある疑問や、当院の内視鏡診断・治療に関する質問をQ&A方式でご紹介します。

Q1 内視鏡はしんどくないの？

鎮静剤を使えば、比較的痛みや異物感を気にせずに検査ができます。胃カメラの場合は、鼻からの胃カメラに変更すると、異物感を感じにくくなります。



Q2 内視鏡の診断・治療に年齢制限はあるの？

当院の場合、年齢ではなく患者さんの全身状態で判断しています。ご高齢の方であっても、全身状態が良ければ80代、90代でも無理なく診断・治療を受けていただいております。早期のがん治療に非常に役立っています。

Q3 ピロリ菌の除菌後は、もう「胃カメラ」をしなくてもいい？

ピロリ菌を除菌しても、胃がんのリスクがそれだけで完全にゼロになるわけではありません。もともとピロリ菌を保有していなかった人よりも胃がんになる確率は高い人が多いので、除菌後も定期的に検査を受けるようにしましょう。

Q4 当院で内視鏡を受けるにはどうしたらいい？

case 1

当院に
現在かかっている場合

主治医の先生にまずご相談ください。

case 2

診察を希望される場合

かかりつけの先生にご相談いただき、医療機関またはホームページよりお申し込みください。

case 3

検査のみ
希望される場合

かかりつけの先生より地域医療サービスセンター(下記電話番号)にお申し込みください。

TEL.06-6131-2955



健康のヒント あれこれ

VOL.
6

あれこれ紹介します。
管理栄養士だから知っている!?
管理栄養士からアドバイス!



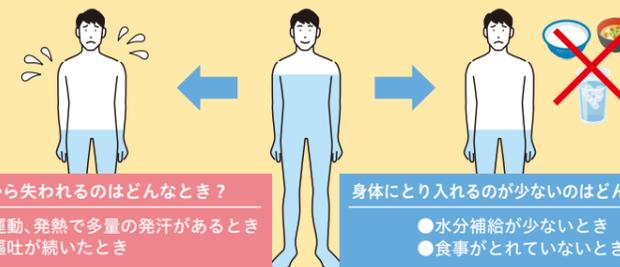
管理栄養士ならではの健康情報や豆知識、食べ方のワンポイントなど、

脱水に気をつけよう

脱水とは、身体に必要な水分とミネラル(電解質)が足りなくなった状態のことを指します。体重の2%(体重50kgの場合1kg=1L)以上の水分が失われると、めまいや食欲不振などさまざまな症状が出現しやすくなります。

こんなときに注意!

水分と電解質が身体から失われるときと、とり入れるのが少ないときに脱水は起こります。



身体から失われるのはどんなとき?

- 暑さや運動、発熱で多量の発汗があるとき
- 下痢や嘔吐が続いたとき

身体にとり入れるのが少ないのはどんなとき?

- 水分補給が少ないとき
- 食事がとれていないとき

脱水を防ぐためには?

1 こまめに水分補給をしましょう

特に高齢の方はのどの渇きを感じにくいため、時間を決めて水分を補給することがおすすめです。



2 空調を利用し、室内環境を整えましょう

高温や過度な乾燥を避けることで、失われる水分・電解質の量を減らすことができます。

3 規則正しい食事をしましょう

1日に必要な水分の約半分は食事からとっています。食事を抜くとその分の水分・電解質が不足します。特に夜間は水分や食べ物を口にしない時間が長く、朝食での補給が重要です。朝食はしっかりと食べましょう。

4 経口補水液の利用も検討しましょう

経口補水液は身体に水分と電解質が効率的に吸収されるように調節されています。多量の発汗があるときや、下痢や嘔吐が続いているときには、利用を検討しましょう。

自宅でも簡単!
手作り経口補水液レシピ 1L用

◎ 水1L、塩3g、砂糖40g、レモン果汁(お好みで)をよく溶かす。
※市販の経口補水液が入手できるまでの、短期間の使用にしましょう。

症状に応じて、早めに医療機関を受診しましょう。

治療中で水分や糖分、塩分のコントロールが必要な方は医師または管理栄養士の指示に従ってください。 栄養部 管理栄養士 米田 奈央